

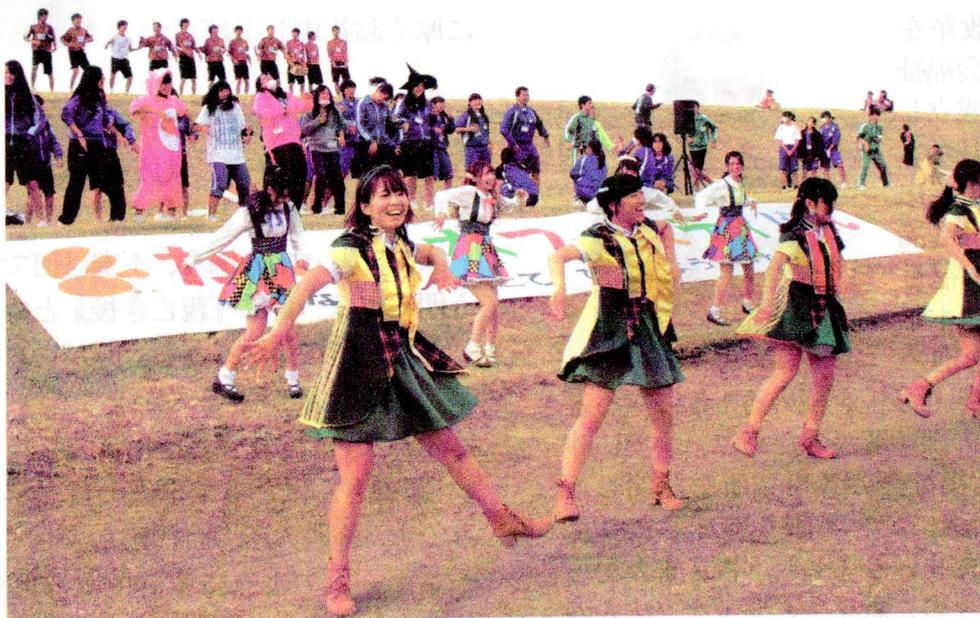
ひとり ひとり ひかる

# きぼう

2016 1/1  
第83号

発行 : かしの木の家/かしの中の里内 一宮市富田字砂原 2147

かしの木 ホームページ [http : www.kasinoki.jp/](http://www.kasinoki.jp/)



かしの木フェスティバル

## 新春のお喜び

申し上げます

## 83号 きぼうの目次

会員の皆様方には、輝かしい新年をお迎えのことと心からお喜び申し上げます。

かしの木の家も今年で36年の活動となります。これもひとえに、会員・購読会員の皆様からのご支援とご協力のお陰と、心から厚くお礼申し上げます。

今年も昨年同様、引き続き、地域の方々、利用者に対して少しでも役に立つように頑張りたいと思いますので、よろしくお願ひ申し上げます。



表紙・写真・目次	1
新年のごあいさつ	2
地域コーナー①/かしの木フェスティバル	3
" / " ・収支報告	4
地域コーナー②/木曾川高校演奏会	5
施設コーナー/そら豆キッズ	6
会コーナー①/研修委員会	7
会コーナー②/イベント委員会	8
会コーナー③/バザー委員会	9
かしの木音楽会	10
文芸コーナー/徳について	11
お知らせコーナー/予定など	12

## 新年のごあいさつ

社会福祉法人 榎の木福祉会  
理事長 北川 登

明けましておめでとうございます。

理事長をお引き受けしてから、初めての新春を迎えました。この間、かしの木の会の皆さまには格別のご支援ご協力をいただき、心から厚く御礼申し上げます。

さて、去年は社会福祉法人の改革を柱とした「社会福祉法改正案」が成立し、平成29年4月から施行されることになりました。社会福祉法人榎の木福祉会にとっても、本年は法人改革を進める重要な年であり多忙を極める1年になると思います。この課題解決のために、すでに昨年より榎の木福祉会の各事業所を訪問したり各行事や会議にできる限り参加したりするように努めてまいりました。皆さま方からいただいた数々のご意見やご要望を、法人の組織や管理運営の改革に生かしてまいりたいと思っています。



一方、次年度以降、榎の木福祉会利用希望者を受け入れるだけの施設に余裕がないという難題にも直面しております。この課題の解決には、多額な予算と時間が必要ですが、利用希望者の切なる願いに応えるために、早急に解決策を見出さなければなりません。

課題が山積する1年ではありますが、欲張らず、止まらず、着実に歩を進め、微力ながらも障害者福祉の充実発展に寄与してまいりたい所存です。かしの木の会会員始め関係各位のご支援ご協力を切にお願いし、年頭のご挨拶といたします。

かしの木の会 会長 小塚 峰子

明けましておめでとうございます。

皆様にはお健やかに新春をお迎えのこととお慶び申し上げます。

日頃は当会の活動にご理解とご協力をいただき、会員および関係者の皆様



に厚くお礼申し上げます。  
さて、去年の8月にかしの木の会の会員のうち障がいを持つご家族対象にアンケートを取らせていただきました。

家族にとっての悩み、不安は何ですかという問いには一番に『親亡き後』という回答でした。親が亡くなったら、障がいを持つ我が子の面倒は誰がみるのか？この子をおいては死ねない！この子より一日でも長く生きたい！親御さんにとって本人の自立が一番の悩みです。施設入所の時代から少しずつ「グループホームのように家庭的な雰囲気の中で暮らさせたい」と願うようになってきました。

今、グループホームは関係各位のご努力により少しずつ増えてはきましたが、まだまだ足りません。親御さんがどんどん高齢化し、老障介護が現実となってきた今、グループホームは急務です。障がいを抱える本人や家族にとって、日々の生活の困難さや将来の不安は計り知れません。地域の皆様のご支援と会員の方々のご協力をいただきながら『障がいがあっても、生まれ育ったこの地域の中で安心して暮らしたい』このことを目標に今年も会活動に励みたいと考えております。

最後になりましたが皆様のご健康とご多幸をお祈り申し上げ、新年のご挨拶とさせていただきます。



## 地域コーナー①

### かしの木フェスティバルを終えて

平成27年11月1日(日)、富田山グラウンドにて「第15回かしの木フェスティバル」が開催されました。当日は晴天ということもあり、多くの来場者の方々に足を運んでいただき、盛大に行われました。来賓の方々や関係機関、ボランティアの皆さんを始め、たくさんの地域の皆様方に支えられて開催できましたことを改めて御礼申し上げます。



会場は、樫の木福祉会グループや近隣地域の福祉事業所等による模擬店や授産製品の販売、フリーマーケット、ボールプール、スタンプラリーなどで賑わいました。今年初めての試みの朝市では、各地域より仕入れた新鮮野菜の販売を行い、大盛況で終わることができました。ステージイベントでは、この地域で活躍する団体による、音楽や踊りなどで会場が湧きました。特に一宮・稲沢のアイドルグループによるステージには、心躍られた方も多かったのではないのでしょうか？会場を巻き込んだ内容が多く、参加者が一体となり、多くの方の笑顔が見られたことが印象的でした。

今年も、多くのボランティアの皆さんに参加していただきました。元気な声で売り子をしたり、機敏に動く姿やステージで出演者と一緒になって盛り上げて頂く姿を見て、感謝するとともに、その一生懸命な姿勢は学ばなければいけないなと思いました。

かしの木フェスティバルは、「つなごう てとて ひろげよう みんなのわ」がテーマです。障害のあるなしに関わらず、地域で共に暮らせる街づくりにしていくことが大きなテーマです。

今年は堤防に横断幕があったのをご覧になられたでしょうか？今回そのテーマを掲げ、大きくアピールをさせていただきました。かしの木フェスティバルでの出会いやふれあいが今後の交流に繋がり、優しい街づくりのきっかけになれば幸いです。

最後になりましたが、フェスティバルを運営するにあたり、たくさんの協力をいただき、同時にこの地域のパワーを感じることができました。今後ともこの地域と共に成長していきたいと思います。益々のご指導ご鞭撻のほど、宜しくお願い申し上げます。また来年皆様にお会いできることを楽しみにしております。

第15回かしの木フェスティバル

実行委員長 加藤 栄治



# 第15回かしの木フェスティバルありがとう

第15回かしの木フェスティバル(11月1日開催)に、ご支援ご協力ありがとうございました。

## ☆第15回かしの木フェスティバルのご協力者数

- 協賛協力業者 19件
- ボランティア協力者 167名
- バザー等出店施設・団体 9軒 (フリマを除く)
- 当日来場者 約1,500名



## ☆第15回かしの木フェスティバル売上報告 (H27.12.1現在)

第15回かしの木フェスティバルの売上は **821,295** 円でした。かしの木フェスティバルにご参加いただき、感謝申し上げます。売上金は、有意義に使わせていただきます。

## 地域の人々に支えられ、地域の人々と共に・・・

協賛業者等の皆様、ボランティアの皆様、ステージ出演団体等の皆様、バザー出店施設等の皆様、不用品バザーに物品を提供して下さった皆様、テント等資材の無償貸与をして下さった団体の皆様、フリーマーケット参加の皆様、広報活動にご協力を下さった皆様等、献身的なご支援とご協力をいただきまして、大変ありがとうございました。

本誌を借りまして厚く御礼を申し上げます。 (かしの木の会 事務局)

## ～フェスティバルにご協賛を頂いた方々～

(50音順・敬称略)

青山歯科医院

キッチンシティ

(有) マツモト園芸

(株) カワサキ

浅井商店

サンヨースポーツ

丸光商店

(株) アトム保険

鈴木クリニック

ミートブティック末広

(株) 壺番屋

ツバメプロパン

(有) イワコシ

のだ電気(株)

～以下個人協賛の方～

(株) 大藤

(有) 橋本住設

毛利 様

(有) 起南部専売所

尾西信用金庫

匿名希望 様

理事長 木村 孚男

## 地域コーナー②

### かしの木の里 レクリエーション 木曾川高校演奏会

9月26日(土)に、木曾川高校ブラスバンド部の生徒の方々による演奏会へ招待して頂きました。こちらの演奏会には毎年招待して頂いており、利用者の皆さんも大変楽しみにしています。

クラシック曲からアニメの曲といった様々な音楽を演奏して頂き、誰もが楽しむことが出来ました。

企画ステージでは、生徒の方々がアンパンマンやセーラームーンといったキャラクターに扮して盛り上げて下さり、利用者の皆さんも前に出て各々音楽に合わせて、一緒に体を動かして踊ったり、歌ったりしていました。皆さんの表情も生き生きと楽しそうでたくさん笑顔を見ることが出来ました。また、会場へ入る前も学校の関係者の方々にサポートして頂き、スムーズに移動することができました。

改めて、音楽の力は人を幸せにしたり、笑顔にしたり、それを通じて人と人が繋がる事が出来ることを感じる事が出来ました。



準備をしている時は、「段取りがスムーズにいくか」「人前に立つことが苦手な私が上手くやっけていけるのか」と不安な気持ちでいっぱいでした。しかし、演奏会で皆さんの笑顔を見ることが出来て、頑張っってやっけて良かったと思いました。

いろいろ失敗もしましたが、これを次に生かして来年も皆さんの笑顔がたくさん見られるようにしたいと思います。

かしの木の里 石田 英里



演奏会を終えて



☆ この演奏会に出演した娘さんを持つお父さんから伺った話です。

演奏会の前、娘さんはクールに構えておられたそうです。ところが帰宅して・・・

- ・櫛の木のみなさんが、全身で音楽を楽しんでおられるのを見て、演奏しながら『音楽の力』をひしひしと感じた。
- ・「私たちの音楽がこんなに喜んでいただけている!」「じゃあ、もっといい演奏をしなくっちゃ!」と、思った。
- ・私自身、今までで最高に楽しめたし、最高の演奏ができたと思う。
- ・「音楽のすばらしさを教えてくれた大切なコンサートになった!」

と、熱く語られたそうです。

そのお父さんは、残念ながらこのコンサートには参加できなかったそうですが、娘さんの表情をみて、「ほんとうにいいコンサートだったんだろうな。」と思われたそうです。

# 施設コーナー



放課後等デイサービス

## そら豆キッズ

日に日に寒さが増していますが、そら豆キッズに通って来てくれている子どもたちは、元気いっぱいチャイプの園庭で走り回っています。そして職員も、寒さと闘いながら、子どもたちと走り回っています。また、個別の活動をしている子どもたちも、それぞれに一生懸命取り組んでくれています。

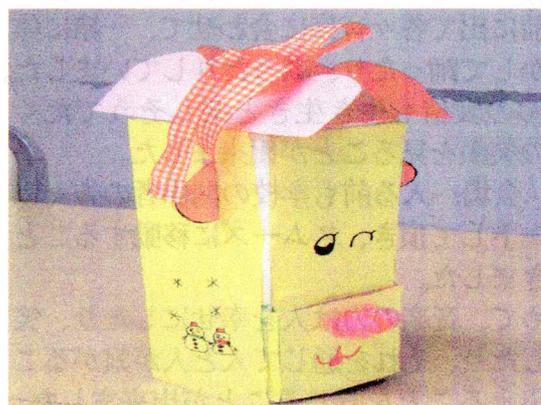
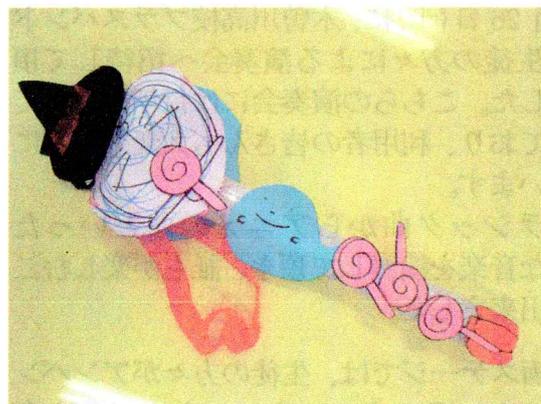
そら豆キッズがスタートして5年目。子どもたちも、どんどん学年が上がり、みんな身体も心も大きく成長しています。今年度は、「学校卒業」という節目を迎える子どもたちもたくさんいて、それぞれの進路も徐々に決まってきました。

そんなみんなを、今後支えてくれる人たちの輪を大きくできるように、社会福祉士を目指している学生さんの実習を今年度も受け入れさせて頂きました。

今年度の実習生には、実習の一環として、普段そら豆キッズの職員が計画している活動内容を考えてもらい、実際に子どもたちがその活動を行いました。実習生は初めての経験に、悩み、試行錯誤しながら、プログラムを立ててくれました。



子どもたちにわかりやすく伝えることの難しさを感じたそうです。実際、実習生には子どもたちが作っているところを見てもらえなかったので、完成した作品を写真に撮って送らせてもらいました。



実習生さんたちとの関わりに、戸惑っている子、気にはなるけど恥ずかしがっている子、楽しんでいる子など反応は様々でしたが、子どもたちにとっても、きっと良い出逢いだったと思います。

これまでに16名の実習生が子どもたちと一生懸命向き合ってくれました。中には実習後、そら豆キッズでアルバイトをしてくれている学生さんもいます。また今年、実習後に某大学の学生さんが、「子どもたちにクリスマスのプレゼントを」と、手作りのプレゼントを作ってくれるという有難いお話も頂きました。

子どもたちと一緒に、ひとつひとつの出逢いを大切にしていきたいと感じています。

そら豆キッズ 龍田

## かしの木の会コーナー①

### 施設見学

研修委員会

雨が降ったりやんだりと天候不順の中、昨年8月28日(金)名古屋市東区にある社会福祉法人名古屋東福祉協会「障がい者ライフサポートやまぶき」と「サポートセンターやまぶき」の二ヶ所へ見学に行つて来ました。参加者は、12名でした。



都会に開設されたばかりの3階建ての「障がい者ライフサポートやまぶき」には3ヶ月間グループホーム体験が出来るチャレンジホームがあります。これは名古屋市独自のサービスですが、多くの参加者がぜひ体験させてみたいと言っていました。



「サポートセンターやまぶき」は6階建てのビルです。6Fはショートステイ、5Fと4Fはグループホームとなっていました。3Fは多目的室で、ここで生活介護の方がゆっく

りとした活動を行っているそうです。お昼時にお邪魔しましたが皆さんとてもいい表情でした。2Fでは生産活動としてお弁当の製造・販売・配達のお仕事をされていました。利用者さんがゆったりと調できるように考えられています。1日300~400食のお弁当を市役所や1人暮らしのお年寄りの方に届けられているのですごいと思いました。厨房では肉と野菜を切る包丁の柄の部分の色分けされていて、衛生面に配慮してありました。

1Fのカフェコーナーでは多くの近所の方がモーニングやランチを食べに来られています。私達も野菜中心のおいしいヘルシーランチをいただきました。



今回案内してくださった施設長さんの服部さんは、地元の会合等に積極的に出かけられたり、利用者の方も近所のお祭りや運動会等に参加者されていると知り、地域の中にとけこんでいるように思いました。また名古屋東福祉協会の約400人の後援会員のほとんどが一般の方だそうで、とても驚きました。このことから法人、利用者ともに地域の皆様に支えられていることがわかりました。地域と福祉のいい関係をみさせていただきました。

中野

## かしの木の会コーナー②

### かしの木の会交流会

「ノリタケの森 食事会と散策」に

参加して

平成27年9月24日、小雨の中、かしの木の会交流会として「ノリタケの森 食事会と散策」をイベント委員会主催で開催させていただきました。市の福祉バスを利用して、北川理事長をはじめ、福祉会から2名、広報委員会3名、研修委員会5名、バザー委員会6名、イベント委員会6名、あっとホーム委員会2名の計25名の参加があり、交流と親睦を図りました。



今年度は会員全員に交流会のお知らせを配布いたしました。福祉バスの定員が35名のため、各委員会の定例会に申し込みをしていただき、人数調整をさせていただくようにいたしました。結果的には申し込み人数は少なく、バスには余裕が出ました。来年は募集の方法に検討を加え、少しでも多くの方に参加いただけるようにしていきたいと思っています。

今年度の交流会は、バス乗り場をかしの木

の里のみとさせていただき、ノリタケの森のレストラン「キルン」には、11時半頃に到着しました。北川理事長の挨拶に始まり、1品、1品ノリタケの素晴らしい食器でいただく上品な料理を、ゆっくりと召し上がっていただきました。予定より食事に時間を要し、散策時間が短くなってしまい、少し慌ただしくなってしまったことをお詫び申し上げます。



帰りにアンケートに協力していただきましたが、ほとんどの方に、来年も交流会に参加したいと回答していただき、交流会を継続して欲しいとの声をいただきました。各委員会の枠を越え、日頃ご一緒しない方々と交流することができ、会員相互の交流の大切さを改めて実感いたしました。

来年度は、募集方法、バス乗り場を2カ所にするなど再検討を加え、更に会員の皆様楽しんでいただける交流会を目指して、企画していきたいと思っています。交流会にご参加いただきました皆様、ご協力ありがとうございました。

イベント委員会 中村 直美

## かしの木の会コーナー③

### バザー委員会活動報告

#### 【感謝状を贈りました】



永田弘子さんと浅野八重子さん

手芸品製作会にかかれこれ十年以上かかわってくださっている地域の無償ボランティアさんお二人に、この度これまでのご功労に感謝を込めて感謝状を贈らせていただきました。率先して新しい商品開発にもチャレンジしていただいて、他の会員さんの励みにもなっています。本当にありがたいことです。

手芸品製作会は月二回（今後の予定は、1月19,26日 2月2,23日 3月1,15日）かしの木の里隣のプレハブきぼうにて9:30～15:00)開催しております。お好きな時間帯に各々好きな物を作ってください結構です。気軽にどんな方でも参加していただけます。地域の方との親睦を深める機会としてもご利用ください。お越しをお待ちしています。

#### 「こまこま」出店（かしの木サポートプラザ内）紹介

かしの木の会の手芸品をこまこまの一角にて展示即売しています。各地でのバザーは秋に集中しているため、その他の期間は購入していただくことができませんでしたが、現在はこの「こまこま」に足を運んでいただければ、いつでもかしの木の会の手作り品をお手に取っていただけます。是非ともご利用よろしくお願ひします。



【 ごしょう産業 (株) 様

毛糸のご寄付ありがとうございます 】

編み物製作に欠かせない毛糸ですが、その品質は様々です。以前から某ショップで販売されている毛糸は品質がいいなあと思い、製造元はどこなのだろう？と商品タグを見てびっくり。何と愛知県一宮市北方町！「キター！」これはダメもとで切れ端毛糸の提供依頼に行くしかない！と勝手気ままな思いつきを実行に移した次第です。そんなわがままなお願いを二つ返事で快くご承諾くださった「ごしょう産業」様に只々感謝です。早速、かしの木フェスティバルや各地でのバザーに出品する編み物製品作りに利用させていただいております。

この会社は、毛糸の販売だけでなく、編み物の普及活動には特に力を注いでおられ、インターネット通販「毛糸ピエロ」での無料編み図紹介、百均の編み物本発行など幅広く業務を展開されています。

聞くとところによると、東北の被災地支援のためにもご寄付されているとのこと。社会貢献にも熱い想いを持って取り組んでおられる会社です。また、既にかしの木福祉会でお仕事を請け負わせていただいていることを知り、本当に驚きました。今後とも末永くお付き合いお願ひしたいと思っています。

青山

# かしの木音楽会 2016

## ♪みんなでつなごう心の絆(きずな)♪

- 1. 日時 2016年2月11日(木・祝)  
午後1時30分開演～午後3時00分終了  
午後12時30分開場
- 2. 会場 尾西グリーンプラザ・コンサートホール
- 3. 出演 一宮市民吹奏楽団
- 4. 参加 入場は無料で、事前の申し込みも不要です!  
皆さん、お気軽にご来場ください!



- 5. 内容 一宮市民吹奏楽団は、昭和49年に創立され、今年40周年を迎えられました。  
この度、イベント委員会からの出演依頼を快く受けてくださり、かしの木音楽会で演奏していただけることになりました。  
私達が親しんだ曲、初めて聴く曲等、一宮市民吹奏楽団の皆様の迫力のある演奏を是非会場でご鑑賞ください。

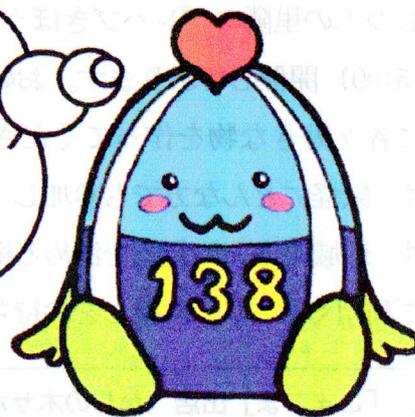


いろいろな食べ物や飲み物も  
ありますよ～♪

- ・檜の木作業所のクッキー販売
- ・檜の木園の飲み物販売
- ・わがんせの手作りパン販売

皆さん、立ち寄ってね～♪

ポク、いちみんだよ!  
かしの木音楽会に遊びに行きます♪  
みんな、なかよくしてね。  
いちみんといっしょに写真とろうね  
～♪



【主催】 かしの木の会(イベント委員会 企画・実施)

【協賛】 社会福祉法人 檜の木福祉会

【お問い合わせ先】 かしの木の里 [一宮市富田字砂原2147 ☎ 0586-63-2111]



# 文芸コーナー

## 「徳」について

かしの木フェスティバル実行委員会は、6月くらいから始まって開催月である11月まで毎月定例会が開かれます。その年度最初の実行委員会では、決まってメンバーの自己紹介があります。私には、毎回最初の会合の時に話をするにしているテーマがあります。それは、「徳」という言葉の意味に関する話です。

以前、広報誌「きぼう」の文芸コーナーで、ギリシャの哲人ソクラテスのことを少し書いたことがあります。それは次のような内容の記事でした。ソクラテスの愛弟子プラトンが、ソクラテスのことを書いた幾つか書物のなかに「メノン」という対話編があります。その中で、メノンという青年が、ソクラテスに「いかにして徳というものを獲得できるか。」ということをお聞きかけます。これに対し、ソクラテスはそもそも一体徳というものは何か、と尋ねます。青年メノンは、「それはたやすいこと、男の徳は国家の仕事の処理し、友人の味方をするのである。女の徳は、世帯をよく保って夫に仕えることである。」と、ソクラテスが徳の本質（現に在るものをそれたらしめるもの、ギリシャ語でト・テイ・エーン・エイナイ）を尋ねているのに対し、メノンは現にあるさまざまな徳の例をあげてみせます。しかし、ソクラテスは「そういうことを問うているのではない。仮にミツバチの本質は何かと尋ねたとき、これもミツバチである、あれもミツバ

チである、と知っているかぎりの種類を列挙して答えるのではなく、あらゆるミツバチに共通のある性質を訊いているのだ。つまり、ミツバチの本質とは蜜を集める蜂のことである。」と。

では、「徳」の本質とは一体何でしょう。私はこう考えます、すなわち「徳」とは、「当の本人はあまり意識してはいないが、周りの人たちはその人の人間的な素晴らしさを十分認めている状態のことを言う。」であると。「徳」の意味は、例えば「得」という言葉との対比において考えてみると、分かり易いのではないかと思います。「得」は、目に見える世界あるいは物質的な範疇に属する言葉であり、そこには利害関係や打算が絡んで参ります。一方の「徳」は目に見えない世界すなわち精神的・形而上学的な範疇に属する言葉であり、純粋な人間関係に深く根ざしております。「得」は、個人に対して起きるものごとであります。一方、「徳」は社会的な地平で現れてくるものです。「得」は、限定的であり利他的快楽を伴う単人称の現象ですが、「徳」は開放的であり、複数人称において歴史的に何らかの存在実感を伴って生じてくるものです。

つまるところ、私たち個々の「徳」の積み重ねは、組織全体の「徳」の蓄積となり、それは檜の木福祉会・かしの木の会、そ

して地域にとって相互に善い影響を及ぼし合う関係に繋がっていくのではないのでしょうか。

本部 橋本



# お知らせコーナー

# 【 行事予定 1月~3月 】

## 檜の木交流会

日時・・・1月23(土) 18:00~  
場所・・・尾西グリーンプラザ

## かしの木音楽会

日時・・・2月11日(祝) 13:30~  
場所・・・尾西グリーンプラザ 講堂

### 開催日のお知らせ

### 福祉マルシェ

### i・愛・逢マーケット

会場 名鉄百貨店一宮店東玄関前

1月・・・19日(火)・20日(水)

2月・・・16日(火)・17日(水)

3月・・・15日(火)・16日(水)

皆さん、ぜひお越しください

### かしの木の会への新規加入・更新

《 年会費 》

活動会員 一口 2,000円

購読会員 一口 1,000円

《問い合わせ先》

かしの木の会事務局

TEL 0586-63-2111

FAX 0586-61-1200

**よろしくお願いたします**

## 地域の人々に支えられ、地域の人々と共に

かしの木の会 事務局	〒494-0018	愛知県一宮市富田字砂原 2147 番地	Tel 0586-63-2111
		かしの木の里内	Fax 0586-61-1200
檜の木福祉会 (法人本部)		一宮市富田字砂原 2147 番地	Tel/Fax 0586-63-2111 / 61-1200
☆檜の木作業所 ・どんぐり		一宮市富田字漆畑 16 番地	Tel/Fax 0586-61-6055 / 61-6514
☆檜の木園		一宮市富田字若宮 17 番地	Tel/Fax 0586-62-8202 / 62-8253
☆ステップ		一宮市明地字上平 35 番地の 1	Tel/Fax 0586-68-1207 / 68-1241
☆かしの木の里		一宮市富田字砂原 2147 番地	Tel/Fax 0586-63-3270 / 61-1200
☆かしの木サポートプラザ		一宮市北丹町 2 番地	Tel/Fax 0586-28-8288 / 28-8188
☆らちえつと		一宮市富田字砂原 2147 番地	Tel/Fax 0586-62-6117 / 61-1200
☆喫茶 ・らちえつと		一宮市富田字砂原 2147 番地	Tel/Fax 0586-62-6135 / 61-1200
☆カフェ ふらっと		一宮市萩原町串作字女郎花 1617 番地 8	Tel 0586-67-5070
☆園芸センター さいた		一宮市西五城字山方 21-1	Tel/Fax 0586-62-0039
☆わがんせ		一宮市祐久字九百坪 204	Tel/Fax 0586-68-2700 / 68-1250
☆相談支援 ゆんたく		一宮市大和町馬引字引郷裏 42	Tel/Fax 0586-64-5882 / 64-5852
☆就業・生活支援 すろーぷ		同上	Tel/Fax 0586-85-8619 / 64-5852
☆療育サポートプラザ チャイブ		一宮市北丹町 2 番地	Tel/Fax 0586-28-8288 / 28-8188
☆居宅介護事業所 きーぷ		一宮市富田字砂原 2147 番地	Tel/Fax 0586-63-2122 / 61-1200
☆G. H. C はぎわら		一宮市萩原町串作字女郎花 1616 番地 3	Tel 0586-67-1787
☆G. H. C びさい		一宮市祐久字九百坪 97	Tel 0586-68-6505
☆G. H. C やまと		一宮市萩原町串作字女郎花 1616 番地 3	Tel 0586-67-1787